

令和 6 年度輸出先国・地域における規制等への対応の強化委託事業

概要 (第 1 回) : E U における主要な民間サステナビリティ認証制度の概要



Eurovision & Associates

2025 年 5 月

目次

1	はじめに.....	1
2	サステイナブル認証	1
2.1	社会のサステイナビリティ	2
2.2	環境のサステイナビリティ	3
3	自己認証の禁止に関する EU 法	3
3.1	EmpCo 指令	3
4	サステイナブル認証	4
5	結びに代えて.....	5

1 はじめに

EU では、2050 年までに気候変動中立目標の達成を目指す中、環境や社会のサステナビリティに配慮した製品の消費が推奨されている。そのため EU で上市される製品がこれらのサステナビリティに寄与することを証明する一つ的手段として、サステナブル認証が普及している。実際に、EU の消費者はサステナブルな製品に対して良い印象を持っており、製品のサステナビリティが安全性、品質などの他のメリットと関連付けられると、製品の購入意欲が高まる傾向がみられる¹。従って、自社製品を EU 域内で展開する日本企業にとっても、サステナビリティ認証をラベル表示することは EU 域内での事業拡大に役立つと言える。本レポートは、こうした見地から、特に EU 内の食農分野に関する民間サステナブル認証ラベルの概要を取りまとめたものである。

2 サステナブル認証

EU で主に採用されているサステナブル認証の方法としては以下の通り。以下三類型の中で、基準認証が最も多く採用されており、その次に事業者独自の認証、スコアシステムの順に採用されている。

認証方法	概要
基準認証（Positive Endorsement）	認証機関が持つサステナビリティ基準を完全に満たす製品にのみ認証機関が定めるラベルを表示する。
事業者独自の認証（Brand-owned labels and claims）	事業者が独自に定めるサステナビリティ基準を基にしたものをラベルに表示する。
スコアシステム（Scoring）	認証機関が持つサステナビリティ基準をスコア別で表示。高スコアの製品は、低スコアの製品よりも、よりサステナブルであることを示す。

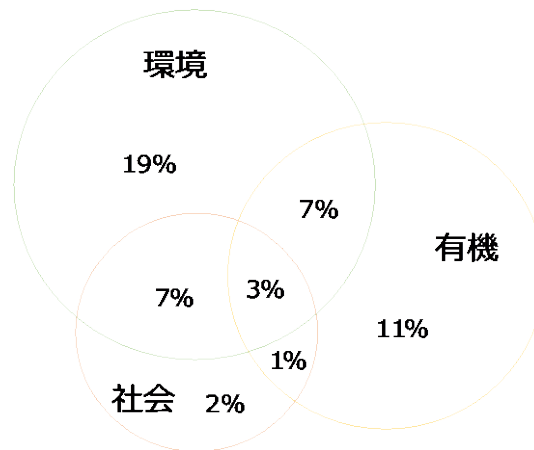
2024 年に、欧州委員会の共同研究センター（JRC）が発表した調査報告書によると、主に、食品のサステナブル認証が対象とする分野は、多いものから順に環境、有機、社会のサステナビリティである²。特に、EU の食品に関するサステナブル認証は、これら 3 要素の内、複数の要素を保証するものが多い³。JRC が調査を行った EU 域内で上市されている製品のサステナビリティを上述の 3 要素毎の対応率を示した下図によれば⁴、3 要素のうちいずれかひとつだけに対応しているのは、環境は全体の 19%、有機は 11%、社会は 2%であり、3 要素すべてに対応している（全体の 3%）製品を含め、いずれか複数の要素に対応していることが多い。

¹ <https://circulareconomyforfood.eu/en/food-sustainability-certifications-in-europe-a-guide-for-consumers-and-companies/>

² https://it.usbcertification.com/wp-content/uploads/JRC134427_01.pdf

³ https://it.usbcertification.com/wp-content/uploads/JRC134427_01.pdf

⁴ https://it.usbcertification.com/wp-content/uploads/JRC134427_01.pdf



2.1 社会のサステナビリティ

JRC が実施した調査では、43 のサステナブル認証ラベルが、認証基準として採用している社会的サステナビリティの項目は以下の通り⁵。これらの中でも、特に、キャパシビリティビルディング、労働者の健康と安全、公正な賃金支払い、労働組合の結成と団体交渉、児童労働、強制労働が、認証基準項目として採用されている。最近では、社会的サステナビリティの項目として、アニマルウェルフェアも認知されている。中には、アニマルウェルフェアのみに特化し、他の認証要素を考慮していないサステナブル認証制度もみられる。

適切な労働環境	差別	フェアトレード	地域社会
キャパシビリティビルディング	全労働者の平等性	組織内での透明性	地域社会への貢献
労働者の健康と安全	ジェンダーへの取り組み	公正な販売価格	地域社会の発展に向けたサービスの提供
公正な給与支払い	小規模事業者、女性など少数派に対する配慮	民主主義的な意思決定	先住民族の権利保障
労働組合の結成と団体交渉		生産者に対する円滑な資金支援	地域社会が受ける悪影響への対応
児童労働		バイヤーによる長期的な取り組み	地域社会の発展
雇用福祉		生産者への金銭的インセンティブ支給を想定した価格設定	雇用創出
強制労働			
労働時間			
適切な労使関係			
サプライチェーン内での人権デューデリジェンス			

⁵ https://it.usbcertification.com/wp-content/uploads/JRC134427_01.pdf

2.2 環境のサステナビリティ

JRC が実施した 57 のサステナブル認証ラベルに関する調査において、調査対象のラベルが取り組んでいる環境問題のうち、最も多いものの上位 3 項目は、気候変動、土地利用、生物多様性の喪失である。それ以外の認証項目については、以下を参照されたい。また、これらの環境のサステナビリティに関するラベルは、主に、サプライチェーンの上流である、一次生産や加工段階、小売や貿易などの流通を対象としている場合が多い⁶。

環境のサステナビリティの認証項目
気候変動、土地利用、生物多様性、水利用、（食品）廃棄物生成、生態毒性（Ecotoxicity）、富栄養化（Eutrophication）、鉱物・金属資源の枯渇、オゾン層の破壊、生物資源の保全

3 自己認証の禁止に関する EU 法

3.1 EmpCo 指令⁷⁸

2024 年 3 月に発効した EU 指令（EU）2024/825（以下、EmpCo 指令）は、企業によるグリーンウォッシング行為を明確に禁止し、消費者のグリーン移行を妨げる不正確かつ誤解を招く表示を排除することを目的としている。同指令は、例えば「環境にやさしい」「サステナブル」などの根拠のない曖昧な表現、非認証のサステナビリティラベル、温室効果ガス排出の相殺による実態と乖離した環境主張などを対象とし、それらの表示が 2026 年 9 月 27 日以降、原則として禁止されることとなる。

これにより、EU 域内で認められるサステナビリティラベルは、ISO 17065 等の国際基準に準拠した、独立性と技術的能力を有する第三者認証機関による認証スキームに基づくものでなければならない。また、これらのスキームは、専門家の関与を通じて設計され、違反時のラベル使用停止措置、公平かつ非差別的なアクセス、オンラインでの情報公開など、透明性と信頼性を担保する要件を満たす必要がある。さらに、サステナブル認証ラベルは EU 法上「環境主張」と見なされるため、企業や製品が競合他社よりも環境負荷が低い、あるいは環境に積極的または中立的な影響を与えると示唆する場合には、裏付けとなる第三者認証が不可欠である。

加えて、EmpCo 指令を補完する形で策定される予定の「グリーンクレーム指令」は、民間事業者による新たな環境ラベリングスキームの創設を厳格に制限する方針を示しており、既存の EU・各国・地域スキームに対して追加的な環境効果を証明できない限り、その承認は下りない見通しである。新設される公的スキームは原則として EU レベルに限定され、第三国のスキームについては欧州委員会による事前通知および承認が義務付けられる。これらの動きにより、EU 市場でサステナブル製品を販売する企業は、ラベル戦略の見直しと共に、信頼性ある第三者認証の取得を前提とした対応が不可欠となる。このように EmpCo 指令は、サステナビリティラベルの質と透明性を底上げし、EU 域内における真のグリーン移行を後押しする制度的転換点となると期待されている。

⁶ https://it.usbcertification.com/wp-content/uploads/JRC134427_01.pdf

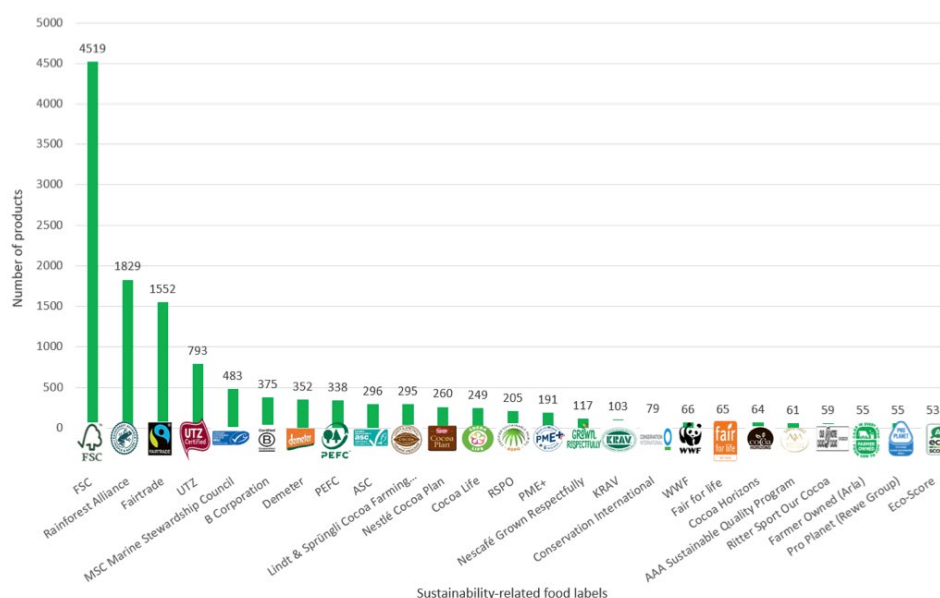
⁷ <https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/HTML/?uri=LEGISSUM:l32011>

⁸ <https://www.goodwillprotect.com/en/ban-on-self-certified-sustainability-labels-greenwashing-ii/>

4 サステイナブル認証

JRC の前述の調査によると、2021 年には、約 74,420 個の商品が EU 内で販売された。そのうち、20% に該当する 14,720 個の製品にサステイナビリティに関連するラベルが採用されている。これらの製品を通して、現在 EU で使用されているサステイナブルラベルは、210 種存在していることが判明した。一方で、多くの製品は、複数のサステイナブル基準を満たし認証をラベルに掲載する傾向があり、一つのサステイナブル基準を満たす認証をラベルに添付している製品は、上述の 74,420 個の製品の内の 12%となる。

以下グラフは JRC が発表した、EU 市場で最も採用されているサステイナブル認証ラベル上位 25 個である。これらのラベルの採用数には偏りがあり、環境と社会のサステイナビリティの両方を対象とする上位 5 つのラベル制度は、このカテゴリーで採用されているラベルの 81%を占めている。これら上位 5 つのラベルに関する概要は以下の通り。



ラベル名	概要
 FSC	EU で最も使用されている認証ラベルで森林保護に寄与。食品の包装のサステイナビリティを保証する。森林部門に関するサステイナビリティ 3 要素を網羅 ⁹ 。同認証は、第三社機関による認証作業を通過したものに付与される ¹⁰ 。
 Rainforest Alliance	熱帯雨林に関する環境・社会的サステイナビリティを保証する。認証にあたって、監査が第三者機関によって実施される ¹¹ 。同認証システムは、従来の Rainforest Alliance と以

⁹ <https://fsc.org/en/how-the-fsc-system-works>

¹⁰ <https://adria-balkan.fsc.org/en/general-information/third-party-certification>

¹¹ <https://knowledge.rainforest-alliance.org/docs/faq-rainforest-alliance-certification-assurance-and-support>

	下記載の UTZ が統一された。従来の Rainforest Alliance ラベルと、UTZ は現在認証を実施していない ¹² 。
 Fair Trade	経済取引の社会的・環境的・経済的サステナビリティを保証するもの。 独自のサステナブル基準を保有しており、それを基に第三者機関による認証作業が実施される¹³。
 UTZ	安全で健康的な労働環境、児童労働や強制労働への対応、環境保護などを独立認証機関により監査¹⁴。現在は、Rainforest Alliance に統合されたため、新規の採用なし。
 MSC (Marine Stewardship Council)	持続可能な漁業を推進するもので、海洋生態系の保全を目指す¹⁵。独自の基準を基に、第三者機関による評価によって基準を満たす製品に認証ラベルの添付を許可¹⁶。

5 結びに代えて

EU では、様々なサステナビリティ認証システムが存在しているが、その多くは、独自の基準を持っている。従って、今後の改題はこうした様々な基準の EU 内の統一だと言える。その第一歩として、EU は、サステナビリティ認証が実際に好影響を与えるものと証明できないものについては、今後、認証ラベルの使用を禁止することとしている。よって日系事業者は、EU の民間サステナビリティ認証を利用するにあたって、客観的に有効であることを証明されたものを選定する必要がある。

【参考】その他の主要なサステナビリティ・ラベル

ラベル名	食品・農産物の認証方法
 B Corporation	企業全体の社会・環境パフォーマンスを評価し、非営利団体の B lab に所属するアナリストによる認証 ¹⁷ 。
 Demeter	バイオダイナミック農法に基づく農産物の生産・加工を対象に、国際基準に従って、Demeter International および加盟組織による認証 ¹⁸¹⁹ 。
 PEFC	森林管理およびサプライチェーンにおける持続可能性を評価し、食品包装などの森林由来製品に適用。第三者機関による認証を実施 ²⁰ 。

¹² <https://www.rainforest-alliance.org/business/marketing-sustainability/using-our-logo-and-seal/>

¹³ <https://www.fairtrade.net/en/why-fairtrade/how-we-do-it/how-does-the-label-work/how-fairtrade-certification-works.html>

¹⁴ <https://www.rainforest-alliance.org/utz/>

¹⁵ <https://nghisonfoodsgroup.com/what-is-msc-certificate/>

¹⁶ <https://www.msc.org/about-the-msc/how-we-meet-best-practice>

¹⁷ <https://bcorporation.eu/what-is-a-b-corp/what-does-b-corp-certification-mean/>

¹⁸ <https://demeter.net/certification/labelling-demeter/>

¹⁹ https://demeter.net/wp-content/uploads/2025/01/2025_C1.pdf

²⁰ <https://www.pefccanada.org/about/our-approach.htm>

 ASC	養殖業者が ASC 基準に基づく持続可能な養殖実践を行っていることを評価し、第三者機関によって認証。
 Lindt & Sprüngli Farming Program	カカオ農家への支援、トレーサビリティの確保、持続可能な農業実践の促進を通じて認証。第三者機関（Earthworm Foundation）による認証を実施 ²¹ 。
 Nestlé Cocoa Plan	カカオの持続可能な調達を推進し、農家支援や児童労働対策を含むプログラムを実施。第三者機関による認証を実施 ²² 。
 Cocoa Life	カカオ農家の生活向上、コミュニティ支援、持続可能な農業実践を通じて認証。認証は、第三者機関（FLOCERT）によって実施 ²³ 。
 RSPO	持続可能なパーム油の生産・供給を評価し、食品産業における使用を認証。RSPO 認定の第三者機関による認証を実施 ²⁴ 。
 PME+	中小企業の CSR 活動を評価し、食品製造業者の持続可能性を認証 ²⁵ 。ECOCERT が監査を実施 ²⁶ 。
 Nescafé Grown Respectfully	コーヒー農家への支援、持続可能な農業実践の促進を通じて認証。4C や Rainforest Alliance などの第三者機関によって認証 ²⁷
 KRAV	有機農業基準に基づき、化学合成農薬や肥料を使用しない農産物の生産を認証。第三者機関による認証を実施 ²⁸ 。

²¹ [https://www.farming-program.com/en/reports-](https://www.farming-program.com/en/reports-policies#:~:text=The%20External%20Assessments%20Methodology%20for%20the%20Lindt%20%26%2C%20delivering%20non-certified%20cocoa%20beans%20under%20the%20Farming%20Program.)

[policies#:~:text=The%20External%20Assessments%20Methodology%20for%20the%20Lindt%20%26%2C%20delivering%20non-certified%20cocoa%20beans%20under%20the%20Farming%20Program.](https://www.farming-program.com/en/reports-policies#:~:text=The%20External%20Assessments%20Methodology%20for%20the%20Lindt%20%26%2C%20delivering%20non-certified%20cocoa%20beans%20under%20the%20Farming%20Program.)

²² [https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/media/news-and-features/2015-march/child-labour-cocoa-supply-chain-](https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/media/news-and-features/2015-march/child-labour-cocoa-supply-chain-infographic.pdf#:~:text=By%202025%2C%20we%20aim%20to%20source%20all%20of,and%20the%20context%20in%20which%20child%20labour%20occurs.)

[infographic.pdf#:~:text=By%202025%2C%20we%20aim%20to%20source%20all%20of,and%20the%20context%20in%20which%20child%20labour%20occurs.](https://www.nestle.com/sites/default/files/asset-library/documents/media/news-and-features/2015-march/child-labour-cocoa-supply-chain-infographic.pdf#:~:text=By%202025%2C%20we%20aim%20to%20source%20all%20of,and%20the%20context%20in%20which%20child%20labour%20occurs.)

²³ <https://www.cocoalife.org/progress/flocert-supply-chain-verification-agreement-signed/>

²⁴ https://rspo.org/wp-content/uploads/RSPO_Certification_Systems_Document_-_November_2020-ENG-1.pdf

²⁵ <https://www.ecocert.com/fr-FR/certification/corporate-social-responsibility-pme-plus>

²⁶ <https://www.ecocert.com/fr-FR/certification>

²⁷ <https://www.nescafe.com/responsible-sourcing>

²⁸ [https://standardsmap.org/en/factsheet/44/how-to-](https://standardsmap.org/en/factsheet/44/how-to-comply#:~:text=Minimum%20level%20of%20conformity%20assessment%20of%20the%20standard,Field%20visit%20%28incl.%20office%20visit%20%26%20doc.%20review%29)

[comply#:~:text=Minimum%20level%20of%20conformity%20assessment%20of%20the%20standard,Field%20visit%20%28incl.%20office%20visit%20%26%20doc.%20review%29](https://standardsmap.org/en/factsheet/44/how-to-comply#:~:text=Minimum%20level%20of%20conformity%20assessment%20of%20the%20standard,Field%20visit%20%28incl.%20office%20visit%20%26%20doc.%20review%29)

 Conservation International	環境保護と持続可能な開発を推進する NGO。持続可能な農業・漁業の推進を目的としたプロジェクトを実施し、認証制度の支援や企業や政府とのパートナーシップを通じて、持続可能な農業や漁業を支援 ²⁹ 。
 WWF	持続可能な食品生産の推進を目的とし、認証制度の評価ツール（CAT）を基にサステイナブル認証の評価を実施。第三者機関によって認証を実施 ³⁰
 Fair for Life	公正な貿易と責任あるサプライチェーンに関する認証。農産物や加工食品の生産者と労働者の権利保護、児童労働などの社会的サステナビリティや水、気候変動、廃棄物管理などの環境サステナビリティが評価対象 ³¹ 。
 Cocoa Horizons	カカオ農家の生計向上、児童労働の防止、低炭素農業などの持続可能な農法の推進などを目的としたプログラム ³² 。日本の森永やドイツの Aldi、ベルギーの GODIVA など 37 社が採用 ³³ 。
 AAA Sustainable Quality Program	ネスプレッソの認証プログラム。持続可能なカカオの調達を目指し、農家への支援、環境保護、労働条件の改善などを実施 ³⁴ 。
 Ritter Sport Our Cocoa	チョコレート製造のための持続可能なカカオの調達と農家支援、環境保護、労働条件の改善を目指す ³⁵ 。その他の認証プログラム（Rainforest Alliance や FSC など）のラベルも採用
 Farmer Owned (Arla)	農家所有の協同組合であることを示すラベル。農家との直接的な関係を強調し、アニマルウェルフェアや製品の品質を保証 ³⁶ 。
 Pro Planet (Rewe Group)	ドイツの小売業者 Rewe グループの認証ラベル。製品の社会的・環境的サステナビリティを専門家グループが OECD ガイドラインに基づくデューデリジェンス評価を実施 ³⁷ 。

²⁹ <https://www.conservation.org/>

³⁰ https://wwfeu.awsassets.panda.org/downloads/cat_faq_december_2018.pdf

³¹ <https://www.fairforlife.org/en/our-labels/fair-for-life/>

³² <https://www.cocoa Horizons.org/sites/www.cocoa Horizons.org/files/2023-24%20Assurance%20Verification%20Report.pdf>

³³ <https://www.cocoa Horizons.org/get-inspired-our-sustainable-brand-partners>

³⁴ https://nestle-nespresso.com/news/nespresso-aaa-sustainable-quality-tm-program-a-triple-win-collaboration-between-nespresso-and-the-rainforest-alliance?utm_source=chatgpt.com

³⁵ https://www.ritter-sport.com/en-gb/sustainability?utm_source=chatgpt.com

³⁶ <https://www.arla.com/company/farmer-owned/>

³⁷ <https://pro-planet.info/faq>

 Eco-Score	フランス発の食品の環境影響を A から E で評価するスコア。ライフサイクルアセスメント、原材料の生産方法、包装、輸送などが評価対象。
--	--

以上